2023年3月期期末
決算説明資料

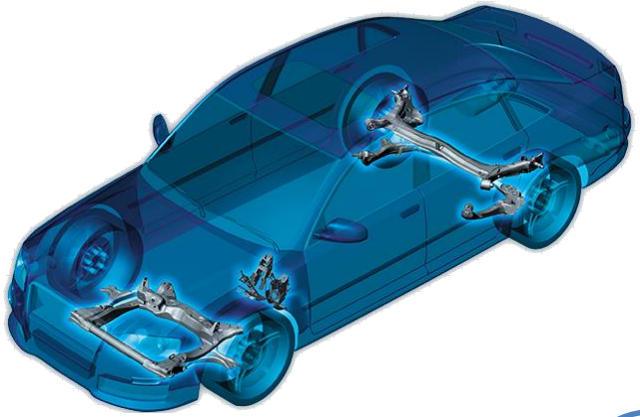
Fiscal Year Ending March, 2023
Financial Results

「エフテック」で検索
https://www.ftech.co.jp

2023年5月16日
株式会社エフテック
証券コード：7212

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

目次



1 決算概要 Financial Summary

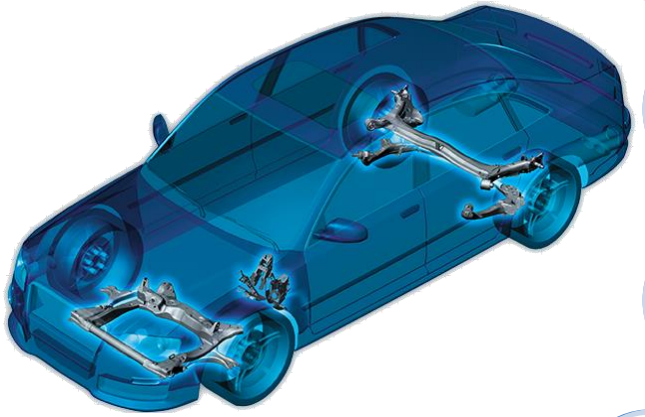
2 業績予想 Earnings Forecast

3 経営戦略 Management Strategy

4 トピックス Topics

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

目次



1 決算概要 Financial Summary

2 業績予想 Earnings Forecast

3 経営戦略 Management Strategy

4 トピックス Topics

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

連結決算概要（前年同期比）

（単位：百万円）

	2022年3月期　実績		2023年3月期　実績		増減	
売上高	191,892	100.0%	261,156	100.0%	69,263	36.1%
営業利益	1,142	0.6%	2,038	0.8%	895	78.4%
経常利益	1,292	0.7%	1,921	0.7%	628	48.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	209	0.1%	1,734	0.7%	1,524	728.1%
1株利益(円)	11.27	–	93.30	–	82.03	–

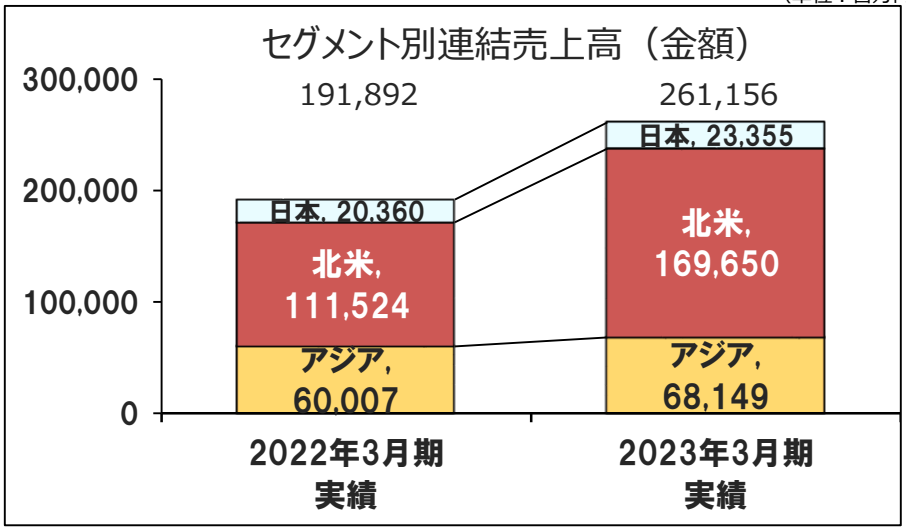
	2022年3月期　実績	2023年3月期　実績	増減
1 US$	113.03円	136.00円	22.97円
1 CAN$	90.14円	102.49円	12.35円
1 人民元	17.12円	19.49円	2.36円

前期比増収増益

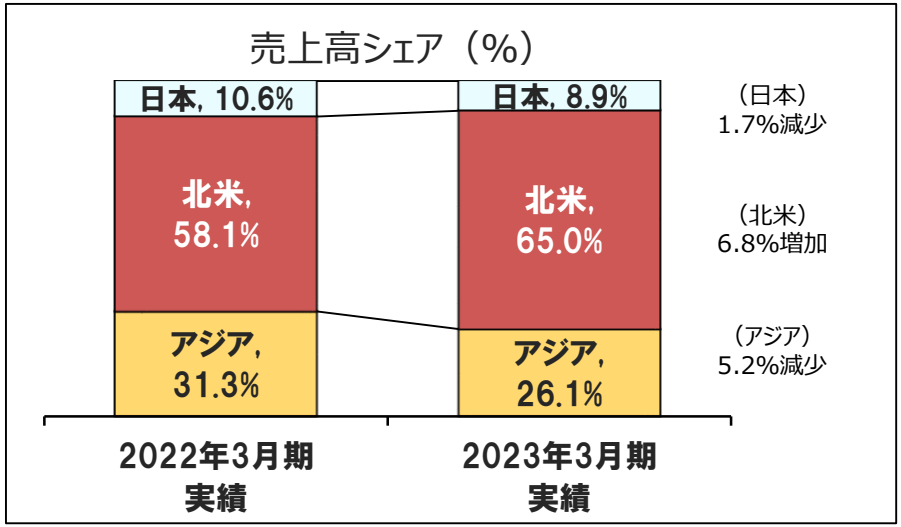
Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

連結売上高（前年同期比）

（単位：百万円）



（単位：%）



連結売上高増減

	2022年3月期	2023年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	20,360	23,355	2,995	14.7%	–	2,995	14.7%
北米	111,524	169,650	58,126	52.1%	25,218	32,907	29.5%
アジア	60,007	68,149	8,141	13.6%	7,931	210	0.4%
連結	191,892	261,156	69,263	36.1%	33,149	36,113	18.8%

半導体不足による影響があるものの、円安及び新規受注製品量産効果により北米生産が増加

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別営業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

	金額			
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	増減	増減率(%)
日本	1,202	417	▲785	▲65.3%
北米	▲2,802	▲1,040	1,761	－
アジア	3,292	2,340	▲952	▲28.9%
合計	1,691	1,716	24	1.5%
調整	▲548	321	870	－
連結	1,142	2,038	895	78.4%

（単位：%）

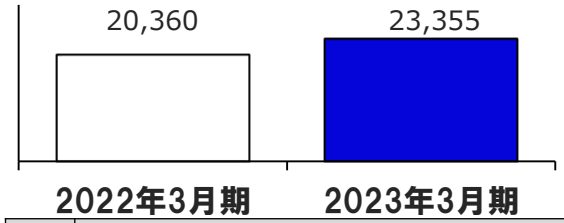
	シェア(%)		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	増減(%)
日本	105.2%	20.5%	▲84.7%
北米	▲245.2%	▲51.1%	194.2%
アジア	288.1%	114.8%	▲173.3%
合計	148.0%	84.2%	▲63.8%
調整	▲48.0%	15.8%	63.8%
連結	100.0%	100.0%	0.0%

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別連結業績（日本）

（単位：百万円）

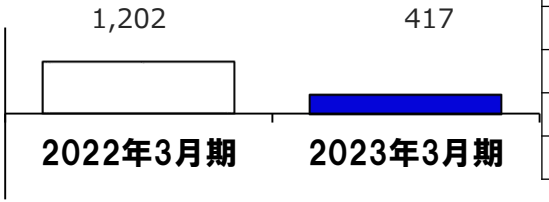
売上高



増減額	2,995
増減率	14.7%
為替影響	–
実質増減	2,995
増減率	14.7%

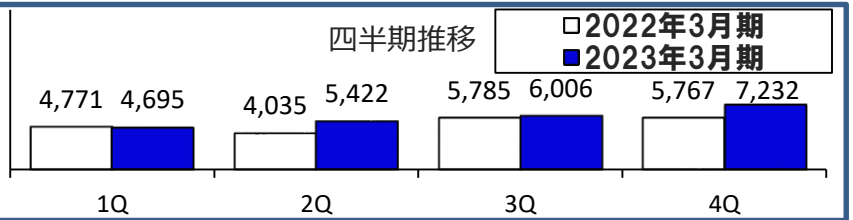
	増減理由	
1	TOYOTA新規受注及び材料高騰による売価上昇	5,284
2	商品売上減少（Gr向け金型設備売上）	▲1,608
3	技術収入売上増加（ロイヤリティー、開発費、他）	409
4	国内子会社売上増加	667
5	内部売上減少	▲1,757
	合計	2,995

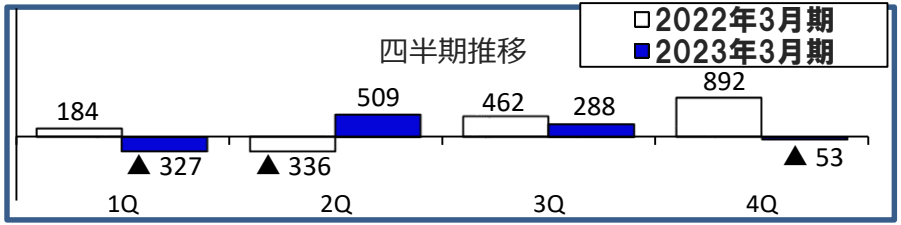
営業利益



増減額	▲785
増減率	▲65.3%
為替影響	–
実質増減	▲785
増減率	▲65.3%

	増減理由	
1	製品売上増益（新規受注 325、物価高騰影響 ▲195）	130
2	商品売上減少による減益	▲166
3	技術収入売上増加による増益	393
4	国内子会社減益	▲246
5	Gr向け売上減益	▲896
	合計	▲785





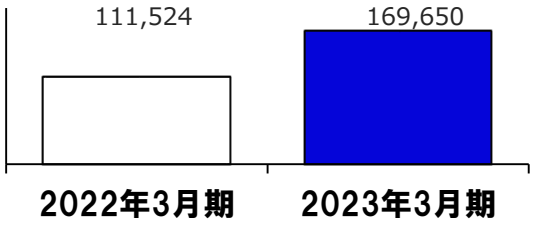
新規受注による製品売上増も、電力料等の物価高騰により増収減益

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別連結業績（北米）

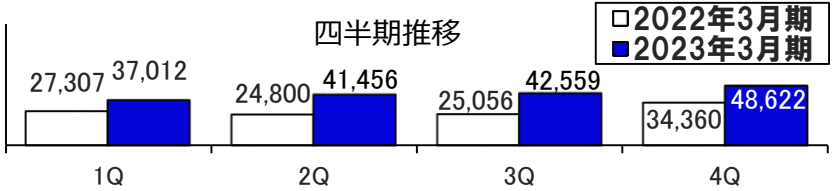
（単位：百万円）

売上高

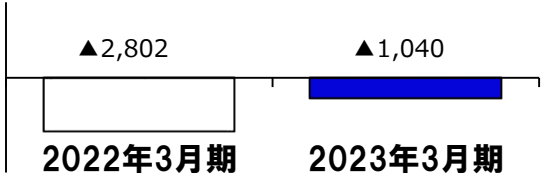


増減額	58,126
増減率	52.1%
為替影響	25,218
実質増減	32,907
増減率	29.5%

	増減理由	
1	製品売上増加（HM +4,043、他 +19,383）	23,426
2	商品売上増加	2,244
3	材料高騰による売価上昇	7,238
4	為替換算影響	25,218
	合計	58,126

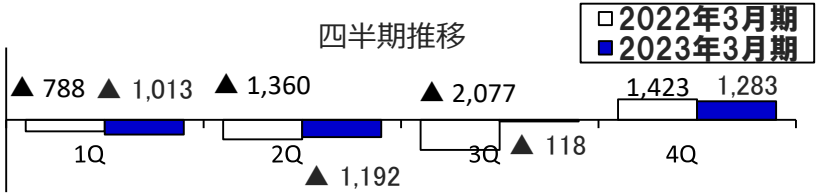


営業利益



増減額	1,761
増減率	–
為替影響	▲142
実質増減	1,904
増減率	–

	増減理由	
1	製品売上増益（新規受注 3,089、物価高騰影響 ▲725）	2,364
2	商品売上増加に伴う利益増加	406
3	政府助成金の減少	▲867
4	為替換算影響	▲142
	合計	1,761



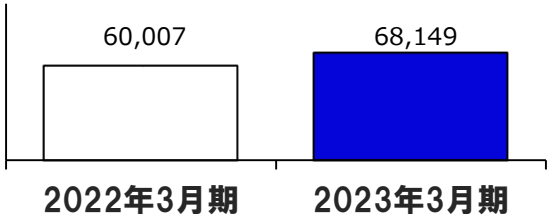
政府助成金の剥落や物価高騰影響があるものの、新規受注の量産効果により増収増益

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別連結業績（アジア）

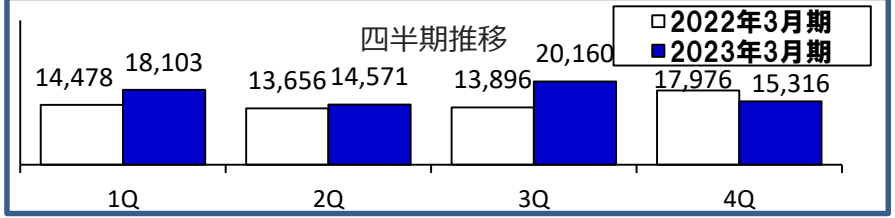
（単位：百万円）

売上高

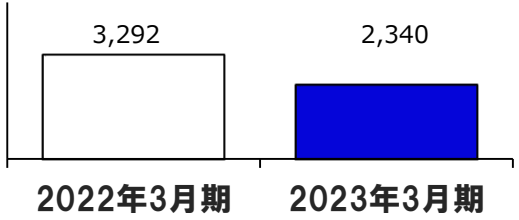


増減額	8,141
増減率	13.6%
為替影響	7,931
実質増減	210
増減率	0.4%

	増減理由	
1	（中国）製品売上（材料高騰 7,238、受注減少▲12,136）	▲4,898
2	（ア大）得意先の受注増加	1,222
3	（ア大） ISS子会社化に伴う売上増	3,886
4	為替換算影響	7,931
	合計	8,141

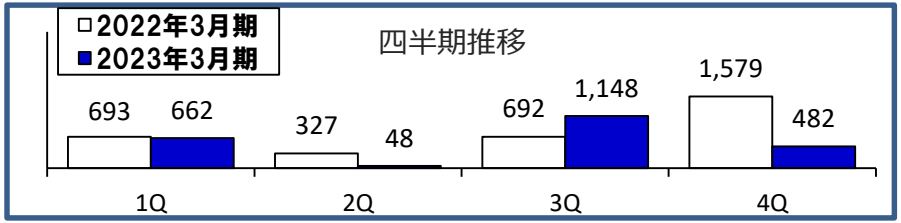


営業利益



増減額	▲952
増減率	▲28.9%
為替影響	247
実質増減	▲1,199
増減率	▲36.4%

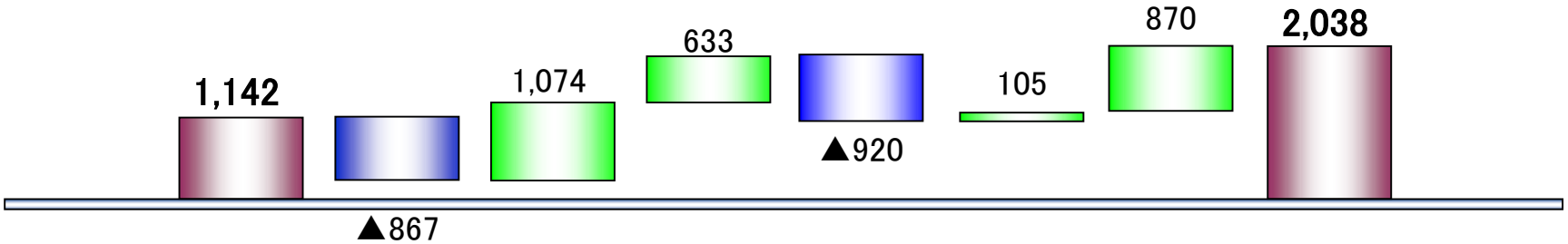
	増減理由	
1	（中国）製品売上減少による減益	▲2,222
2	（ア大）製品売上増加による増益	809
3	（ア大） ISS子会社化に伴う増益	214
4	為替換算影響	247
	合計	▲952



中国：ゼロコロナ政策により減収減益、ア大：生産回復、ISS子会社化により増収増益

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別営業利益（2023年3月期実績）



	2022年 3月期	政府 助成金	製品売上 影響	商品・技術 収入売上 影響	物価高騰 影響	為替影響	連結調整	2023年 3月期	増減
日本	1,202		▲817	227	▲195			417	▲785
北米	▲2,802	▲867	3,090	406	▲725	▲142		▲1,040	1,761
アジア	3,292		▲1,199			247		2,340	▲952
調整	▲548						870	321	870
連結	1,142	▲867	1,074	633	▲920	105	870	2,038	895

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

連結決算概要（2022年11月4日修正発表比）

（単位：百万円）

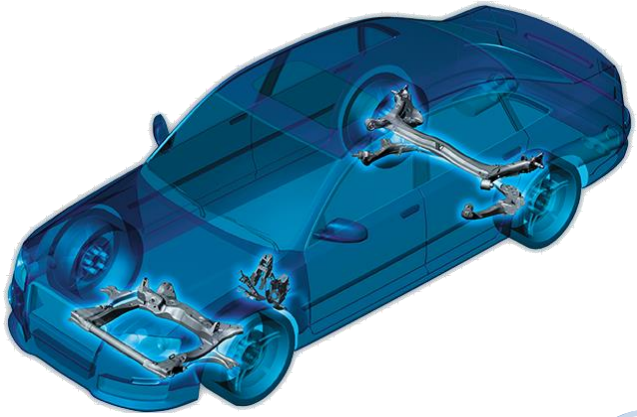
	2023年3月期 予想		2023年3月期 実績		増減	
売上高	270,000	100.0%	261,156	100.0%	▲8,843	▲3.3%
営業利益	2,000	0.7%	2,038	0.8%	38	1.9%
経常利益	2,400	0.9%	1,921	0.7%	▲478	▲20.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,500	0.6%	1,734	0.7%	234	15.6%
1株利益(円)	80.69	—	93.30	—	12.61	—

	2023年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減
1 US$	136.25円	136.00円	▲0.25円
1 CAN$	105.26円	102.49円	▲2.77円
1 人民元	19.61円	19.49円	▲0.12円

半導体不足や中国のゼロコロナ政策による減産も、営業利益は業績見通しを守り切り

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

目次



1 決算概要 Financial Summary

2 業績予想 Earnings Forecast

3 経営戦略 Management Strategy

4 トピックス Topics

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

連結業績予想（2024年3月期予想）

（単位：百万円）

	2023年3月期　実績		2024年3月期　予想		増減	
売上高	261,156	100.0%	287,000	100.0%	25,843	9.9%
営業利益	2,038	0.8%	5,600	2.0%	3,561	174.7%
経常利益	1,921	0.7%	3,500	1.2%	1,578	82.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,734	0.7%	1,500	0.5%	▲234	▲13.5%
1株利益(円)	93.30	－	80.69	－	▲12.61	－

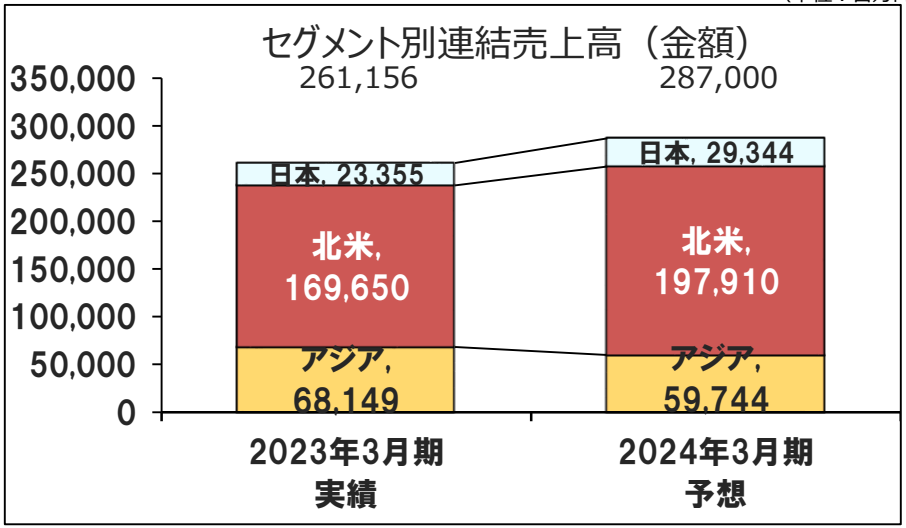
	2023年3月期　実績	2024年3月期　予想	増減
1 US$	136.00円	128.00円	▲8.00円
1 CAN$	102.49円	95.00円	▲7.49円
1 人民元	19.49円	18.70円	▲0.79円

主要得意先の生産回復及び新規受注製品の量産本格化により、増収増益

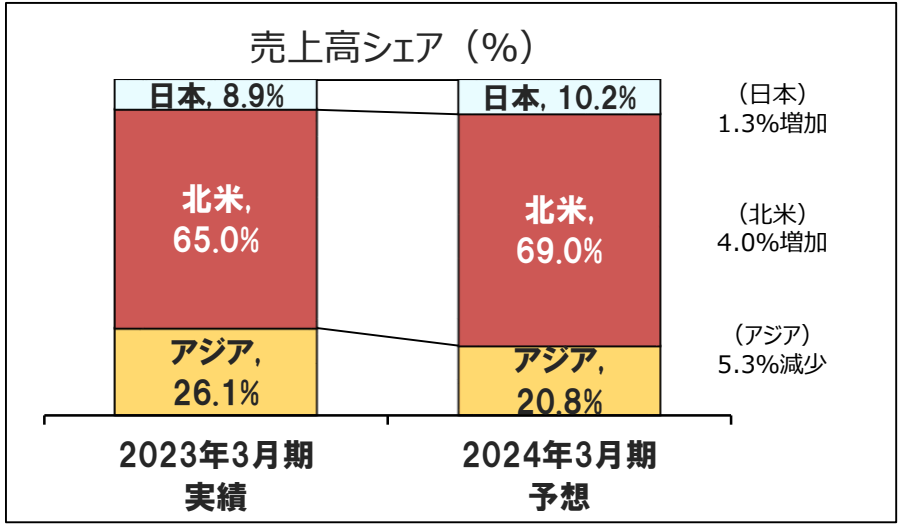
Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

連結売上高（前年同期比）

（単位：百万円）



（単位：%）



連結売上高増減

	2023年3月期	2024年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	23,355	29,344	5,988	25.6%	—	5,988	25.6%
北米	169,650	197,910	28,260	16.7%	▲12,250	40,511	23.9%
アジア	68,149	59,744	▲8,405	▲12.3%	▲2,323	▲6,081	▲8.9%
連結	261,156	287,000	25,843	9.9%	▲14,574	40,418	15.5%

為替の影響を受けるも、北米を中心に新規受注製品の量産が本格化

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

セグメント別営業利益（前年同期比）

（単位：百万円）

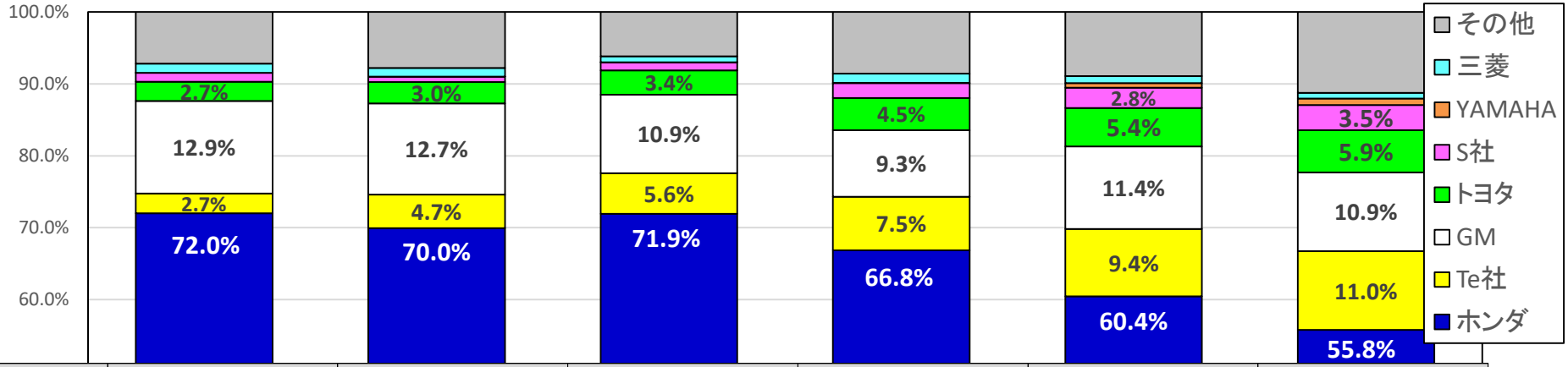
	金額			
	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率(%)
日本	417	627	210	50.5%
北米	▲1,040	3,875	4,916	—
アジア	2,340	931	▲1,408	▲60.2%
合計	1,716	5,435	3,718	216.6%
調整	321	164	▲157	▲48.8%
連結	2,038	5,600	3,561	174.7%

（単位：%）

シェア(%)		
2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減(%)
20.5%	11.2%	▲9.3%
▲51.1%	69.2%	120.3%
114.8%	16.6%	▲98.2%
84.2%	97.1%	12.8%
15.8%	2.9%	▲12.8%
100.0%	100.0%	—

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

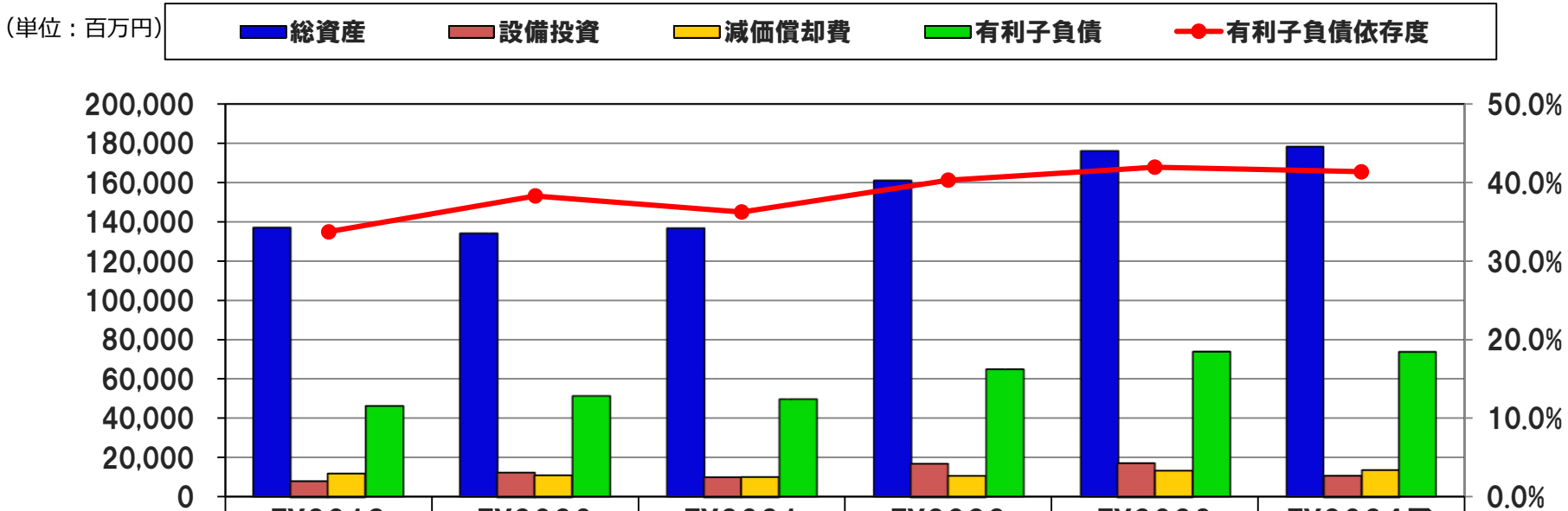
得意先別売上高の推移



	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期予
ホンダ	169,512	153,004	132,123	128,269	157,846	160,144
Te社	6,443	10,211	10,374	14,317	24,549	31,450
GM	30,258	27,719	20,051	17,791	29,900	31,372
トヨタ	6,300	6,471	6,178	8,563	14,033	16,849
S社	2,913	1,686	2,066	4,002	7,369	10,099
YAMAHA	9	5	2	18	1,607	2,512
三菱	3,051	2,597	1,541	2,505	2,628	2,361
その他	16,875	17,019	11,310	16,427	23,224	32,213
	235,361	218,712	183,647	191,892	261,156	287,000

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

財務の状況



	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024予
総資産	137,010	134,038	136,714	160,931	176,137	178,253
設備投資	8,056	12,238	10,010	16,651	16,907	10,758
減価償却費	11,720	10,890	10,032	10,581	13,112	13,446
有利子負債	46,220	51,342	49,565	64,867	73,925	73,783
有利子負債依存度	33.7%	38.3%	36.3%	40.3%	42.0%	41.4%

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

配当金の状況

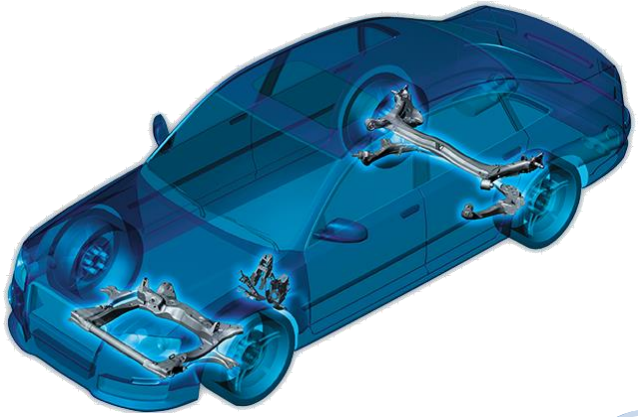
	1Q末	2Q末	3Q末	期末	合計	配当性向
2022年3月期配当実績（前回）		0円00銭		10円00銭	10円00銭	88.7%
2023年3月期配当予定（今回）		10円00銭		10円00銭	20円00銭	21.4%
前回差		10円00銭		0円00銭	10円00銭	–
2024年3月期配当予想（翌期）	-	10円00銭	-	10円00銭	20円00銭	37.4%
前回差	-	0円00銭	-	0円00銭	0円00銭	—

配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。
株主の皆様への還元を重要視しており、財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

目次



1 決算概要 Financial Summary

2 業績予想 Earnings Forecast

3 経営戦略 Management Strategy

4 トピックス Topics

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

第14次（前）中期経営計画の振り返り
2020年度～2022年度

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

基本方針

全社方針：限界突破！世界中のお客様にこだわりのBest Oneを

Our Vision ： 足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1を目指す

基本事業戦略

Back to Basics ～ こだわりを極め

- ◇全拠点の黒字化
- ◇シミュレーションの進化
- ◇国内の再生

Challenge for New～新たな価値創造へ挑戦

- ◇新たな柱となる顧客を確立
- ◇新たな地域への挑戦
- ◇新たなビジネスの創出

グループで効率の最大化を図る
要員効率、自動化、廃却仕損費削減

目標

全拠点黒字化 国内再生	・課題製造拠点の体質強化（品質・生産性向上） ・投資コントロール、間接費用の徹底削減等
シミュレーション技術 進化	・自動化技術の開発、NPD※技術の進化等 ※Non Prototype Development
新顧客確立 新地域へ挑戦	・トヨタ様、GM様及び欧米系メーカー、EVメーカー等 ・インドでの新たな展開、メキシコでの新取引開始等
新ビジネスの 創出	・自動化装置開発、ペダル領域での共創等 ・久喜市の次世代街づくり構想への参画等
業績	**売上高　2,150億円** **営業利益　75億円** **（営業利益率3.5%以上）**

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Back to Basics　実施施策

全拠点黒字化	・品質・生産性の向上 ・投資コントロール、間接費用削減 ・課題拠点の体質強化	⇒	半導体不足の影響による得意先の生産台数減で全拠点黒字化に至らず
シミュレーションの進化	・試作品なしで製品づくりを完結できる設計技術の確立 ※NPD（Non Prototype Development）	⇒	・開発時間の短縮とコストの削減　▲5%見込み
国内再生	・国内事業所の活性化 ・コーポレート部門の業務見直し ・環境マネジメント	⇒	・新規得意先との取引開始 ・業務集約に向けたプロジェクトの始動 ・環境目標（2017年度比）は達成

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Challenge for New 実施施策

柱となる新規顧客の確立	・主要得意先とのビジネス拡大 ・新規得意先への拡販展開	・主要4社（ホンダ様以外）との取引は着実に増加 新規得意先との取引拡充は順調に推移
新たな地域への挑戦	・メキシコ市場への積極展開 ・インドビジネスの確立	・メキシコでは能力を拡充し、新機種の生産開始 ・インドのコイル・金型・プレス事業会社を買収 ・インド合弁会社から得意先へ製品納入開始 メキシコ、インドとも順調に事業を拡充
新ビジネスの創出	・グループ販売ビジネスの再構築 ・コーポレート部門の業務見直し ・ペダルの共創開発 ・新規ビジネス立ち上げ	・プレス工程での「台車入れ自動化」装置の開発 ・業務の集約、効率化の推進 ・フィリピンでのペダル設計/製造の共創開始 ・電動車製作（サブフレーム）で参画（久喜市） 多面的なアプローチを行うことで可能性を追求

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

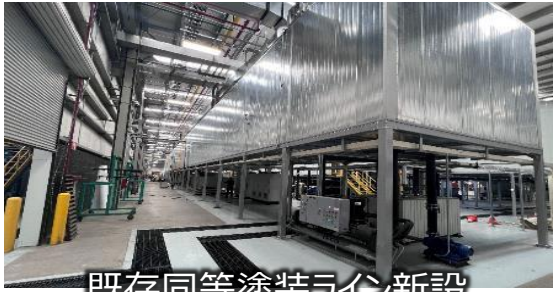
（参考）メキシコビジネス

F&P MFG DE MEXICO, S.A. DE C.V.

自動車メーカー3社から4車種(3車種ＥＶ)の受注に伴い、約1億ﾄﾞﾙの投資を実施
※投資の内容：建物拡張10M、プレス･塗装能力拡充21M、新機車種の溶接ライン等67M）

プレス3500t･1000ｔ追加導入

溶接8ライン新設予定


既存同等塗装ライン新設

◆2023年度（見込）
売上高：約400億円

◆2022年度
売上高：約270億円

※換算為替レート　2022年度：1ドル132円　2023年度以降：1ドル128円

15次中期経営計画では、グループの柱に成長

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

計数目標と実績

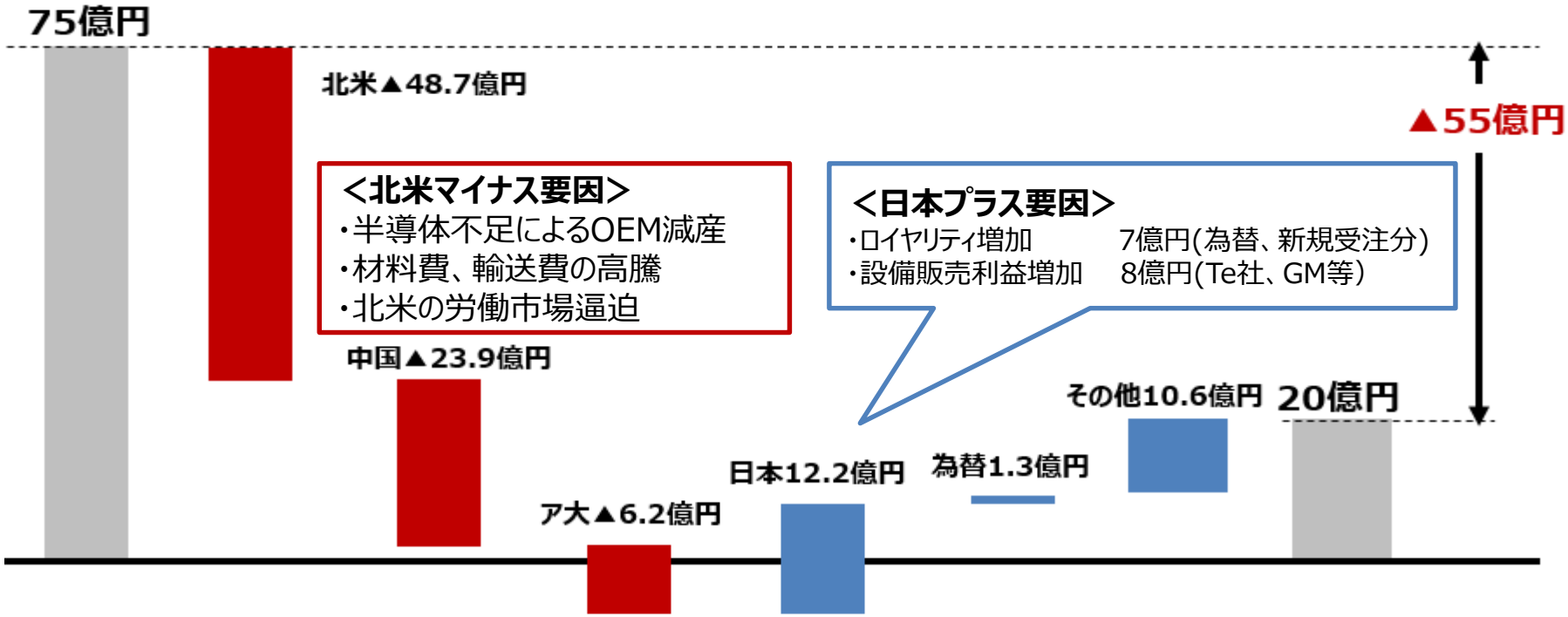
		2020年度	2021年度	2022年度
前中計計数目標	売上高	2,160億円	2,220億円	**2,150億円**
	営業利益	50億円	70億円	**75億円**
	営業利益率	2.3%	3.2%	**3.5%**
		US$=JPY105.0		
実績	売上高	1,836億円	1,918億円	**2,611億円**
	営業利益	30億円	11億円	**20億円**
	営業利益率	1.7%	0.6%	**0.8%**
		US$=JPY105.9	US$=JPY113.0	US$=JPY136.0
実績	有利子負債残高	495億円	648億円	**739億円**
	有利子負債依存度	36.3%	40.3%	**42.0%**

コロナ、半導体供給不足、各種コストの上昇により、事業環境が激変
特に自動車メーカーの減産影響大

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

最終年度（2022年度）の営業利益目標と実績の差異

	2022経営計画		2022実績
営業利益	75億円	→	20億円
営業利益率	3.5%		0.8%



Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

第15次（新）中期経営計画
2023年度～2025年度

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

課題と戦略の方向性

F.tech

環境変化

エフテック　14次中期経営計画　総括

- 高品質・高効率生産の未達成 ⇒ 全拠点黒字化は未達成
- 大型投資により財務負担増加 ⇒ 財務体質は低下
- 技術者育成は途上 ⇒ 競合優位性維持のため必須事項

外部環境

- 自動車メーカー減産による売上減少
- EVシフト、ｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙ重視が加速
- サステナビリティを重視する見方へ転換

課題

- 収益力の回復
- 持続的成長に向けた投資原資の確保
- 14次中計の大型投資の回収
- 拡販の増大
- EV商権の拡大
- リソースの最適化
- 事業のサステナビリティ向上

戦略の方向性

①稼ぐ力の強化

外部環境変化により低下した製造体質を再度、強みへと向上させ、利益に貢献する

②財務体質の健全化

14中計での投資を回収し、新中計では投資を抑制し、予実をモニタリングし管理強化する

③戦略的な成長ビジネス機会の追求

強みを活かしEVシフトのニーズを捕捉し、ホンダ様に並ぶ商権を戦略的に確立する

④サステナビリティ経営の構築

環境・社会・経済の持続可能性へ配慮することで、事業のサステナビリティ向上を図る

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

概要

成長

全社方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

第16次中期経営計画
(FY26-FY28)
到達目標：
営業利益率　5%

Challenge for New

●戦略的な成長ビジネス機会の追求
- -戦略的な営業活動による付加価値拡大
- -EV商権の拡大
- -開発効率の最大化
- -新技術の確立

●サステナビリティ経営の構築
- -ESG経営への取り組み強化
- -カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
- -ステークホルダーからの評価向上

成長投資

モノづくりの本質追求

稼ぐ

Back to Basics

借入金の削減

●稼ぐ力の強化
- -課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- -競争優位性の強化による収益向上
- -従業員エンゲージメントの向上
- -エフテックファミリーで活躍できる人財の育成

●財務体質の健全化
- -14中計投資による成果の創出
- -投資の抑制
- -収支モニタリング体制の強化

稼ぐ力

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Back to Basics～稼ぐ力の強化

課題拠点へのグループ一体サポート	拠点別の弱点に則したグループ一体サポート展開 ・北米：生産体質、中国：生産・要員効率強化、ア大：利益体質
競争優位性の強化による収益向上	モノづくりの本質追求で利益に貢献 ・品質、コスト、納入、安全の施策による収益向上
従業員エンゲージメントの向上	働き甲斐を持てる仕組みを複層的に導入 ・人事制度改定、ダイバーシティ推進、いきいき運動展開
グループで活躍できる人財の育成	タレントマネジメント実践 ・海外トレーニーや駐在実施、ローカル人財の最適配置

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Back to Basics～財務体質の健全化

中計期間の投資による成果の創出	メキシコなど大型投資案件の投資回収管理 その他個別案件の計画対比回収状況確認
投資額のコントロール	グループの減価償却費の範囲内に投資額を抑制 ・一般投資、新機種投資事案ごとに多面評価実施し管理を徹底
収支モニタリング体制の強化	課題拠点を中心とした利益、投資管理の徹底 ・収支、投資、資金繰り状況の定期的管理を実施

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Challenge for New～戦略的ビジネス機会の追求

戦略的な営業活動による付加価値拡大	日本と北米営業会社が連携し戦略的拡販・交渉展開
EV商権の拡大	EV化加速の流れを捉えた営業活動展開 ・これまでに蓄積したEV車の開発ノウハウを活用し営業・開発一体での受注活動展開
開発効率の最大化	グローバル開発拠点連携による開発効率向上 最適化開発技術の向上と開発技術熟練者育成
新技術の確立	エンジニアリング領域における新技術確立・運用開始 新分野への挑戦

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

（参考）戦略的な営業活動～北米営業会社

設立会社概要　北米営業会社

会社名称	F-TECH NORTH AMERICA INC.
所在地	1050 Wilshire Drive, Suite 240 Troy, Michigan 48084 U.S.A.
事業内容	北米地域における自動車メーカーに対する営業活動
事業開始日	2023年4月
資本金	US$ 300,000
出資比率	株式会社エフテック　100%
純資産	US$ 362,000　（2023年3月期見込み）
総資産	US$ 2,274,000（2023年3月期見込み）

戦略的な営業活動による売上・付加価値拡大、EV商権の拡大へ

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

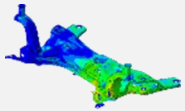
（参考）開発効率の最大化～シミュレーション技術の進化

F.tech

クルマの動力源が変化しても、OEMの要求に柔軟、かつ高精度で対応できる開発体制

設計

オプティマイゼーション設計



OEMの要求に対し、最適な仕様での提案が可能

解析

製品を実車に搭載した際の性能影響の解析

・製品性能：強度、耐久、剛性、ノイズ、バイブレーション、衝突、操安性能

一連の生産プロセスを想定した解析

・製造領域：プレス、溶接、塗装を考慮した設計が可能

試作/試験

・プロトタイプの製作

・要求性能評価素材、強度、耐久、耐食性、サスペンション特性

シミュレーション上で製品開発と製造プロセスの完全な再現を目指す

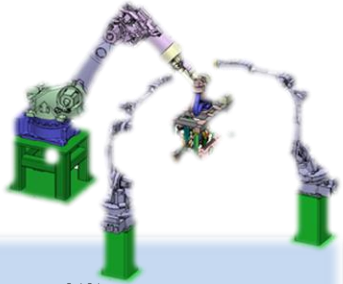
“開発コストの削減と開発期間の短縮” “新機種安定立ち上げ”

15次中計最終年度、前モデル比15%の効率向上を目指す

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

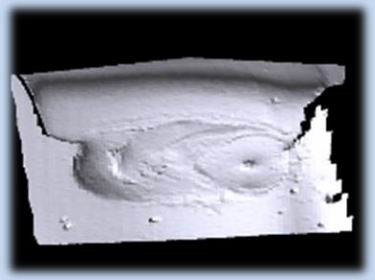
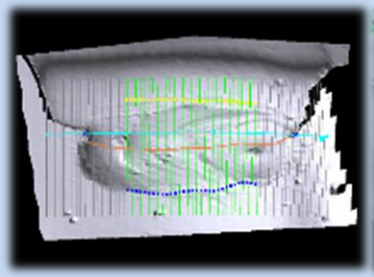
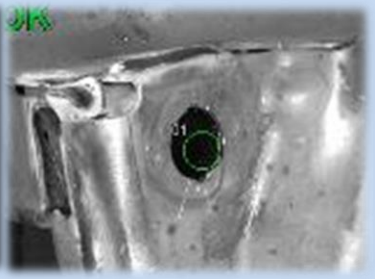
（参考）新技術の確立～自動検査ラインの導入拡大

習熟した検査員による検査
訓練された“人の目”から・・・



自動検査ライン
北米拠点にて19ライン稼働中

既存技術＋新技術＝エフテックオリジナルの自動検査技術ノウハウを注入した”機械の目”

習熟度で左右される”判断バラツキ”排除

要員削減→要員最適配置

製品個々の出来栄えをデータ化

製造コスト低減

15次中計最終年度には、北米拠点での稼働数を2倍へ

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Challenge for New～サステナビリティ経営の構築

サステナビリティ推進部の設置	サステナビリティ推進に係る施策の立案・推進 発信力の強化
カーボンニュートラルの実現へ向けた推進	カーボンニュートラル計画に基づく活動展開
ステークホルダーからの評価向上	積極的なIR活動・開示・対話の再開、 株主還元の重視
EPSの向上	稼ぐ力の強化でEPS 175円以上を目指す

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

（参考）カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

「エフテック 2050カーボンニュートラル」に向けて

フェーズ：省エネ・高効率化/製品への取組み → 他産業・SC連携強化 → 脱炭素チャレンジ

設計開発EG領域

これまで
- 製品の燃費性能の向上（軽量化）

モビリティ社会への貢献

環境に配慮された製品開発
- 開発領域で低CO2仕様の検討
- 製造領域に環境負荷の少ない工程開発
- 高品質、高性能、低価格で軽量かつ低CO2排出仕様の提案

顧客ニーズへの対応

サプライチェーン(SC)領域への拡大

外注先(Tier2以下)のCO2排出量ミニマム化
- 脱炭素化に向けた省エネ/技術支援
- 再エネ/低CO2排出電力への導入要請

素材・物流領域CN化

自社一貫加工体制での開発-生産連携

製造領域

これまで
- 省エネの取組
- ISO50001の活用
- 低CO2電力の一部導入

事業領域の脱炭素化

製造工程のCO2排出量ミニマム化
- エネルギーの見える化（製品LCA）
- 大型汎用設備及び高効率設備への計画的切替
- 再エネ/低CO2排出電力の計画的導入

ガス燃焼設備の電化/代替燃料への切替

Scope1(直接燃焼)のCO2排出量ミニマム化
- 塗装工程におけるガス使用設備の電化
- 合成燃料などの工程使用

再生可能エネルギー普及拡大

再エネの積極的活用

2023 ～ 2040～

カーボンニュートラル 実現

定期的に評価を依頼

外部機関

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

気候変動調査機関

2022年評価 B

カーボンニュートラル戦略委員会（委員長：社長、委員：各役員）

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

（参考）施策の全体像

F-tech

戦略マップ

全社方針: 稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

戦略	視点	
目標	財務	営業利益率 / Net Debt/EBITDA倍率
		①稼ぐ力の強化 / 増収増益 / 成長投資 / ②財務体質の健全化 / 資金調達力
	ステークホルダー	OEM / 従業員 / 取引先 / 金融機関 / 株主 / 地域社会
		③戦略的な成長ビジネス機会の追求 / ④サステナビリティ経営の構築
手段	プロセス	競争優位性の強化による収益向上
		戦略的な営業活動による付加価値拡大
		開発効率の最大化
		EV商権の拡大
		新技術の確立
		モノづくりの本質追求 ・高品質・高効率生産で供給 ・自拠点・部門の強みを向上
		モニタリング体制の強化
		投資の抑制
		14中計投資による成果の創出
		ESG経営への取り組み強化
		ステークホルダーからの評価向上
		カーボンニュートラルの実現へ向けた推進 製品LCAによる工程のエネルギー見える化 カーボンニュートラル推進 環境マネジメント プライム市場の対応
知恵	人的投資	従業員エンゲージメントの向上 職場環境の改善
		人事 ・人財の採用～育成（確保） ・やる気/能力を高める ・リスキリングの推進
		エフテックグループで活躍できる人材の育成 組織風土の変革

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

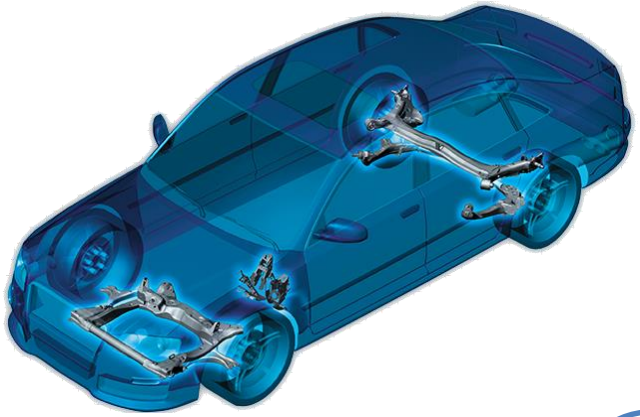
計数目標

	2023年度	2025年度
売上高	2,870億円	3,000億円
営業利益	56億円	80億円
親会社株主に帰属する当期純利益	15億円	33億円
営業利益率	2.0%	2.7%
Net Debt/EBITDA	3.6倍以下	3.1倍以下
EPS	80円以上	175円以上

※換算為替レート：1ドル　128円

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

目次



1 決算概要 Financial Summary

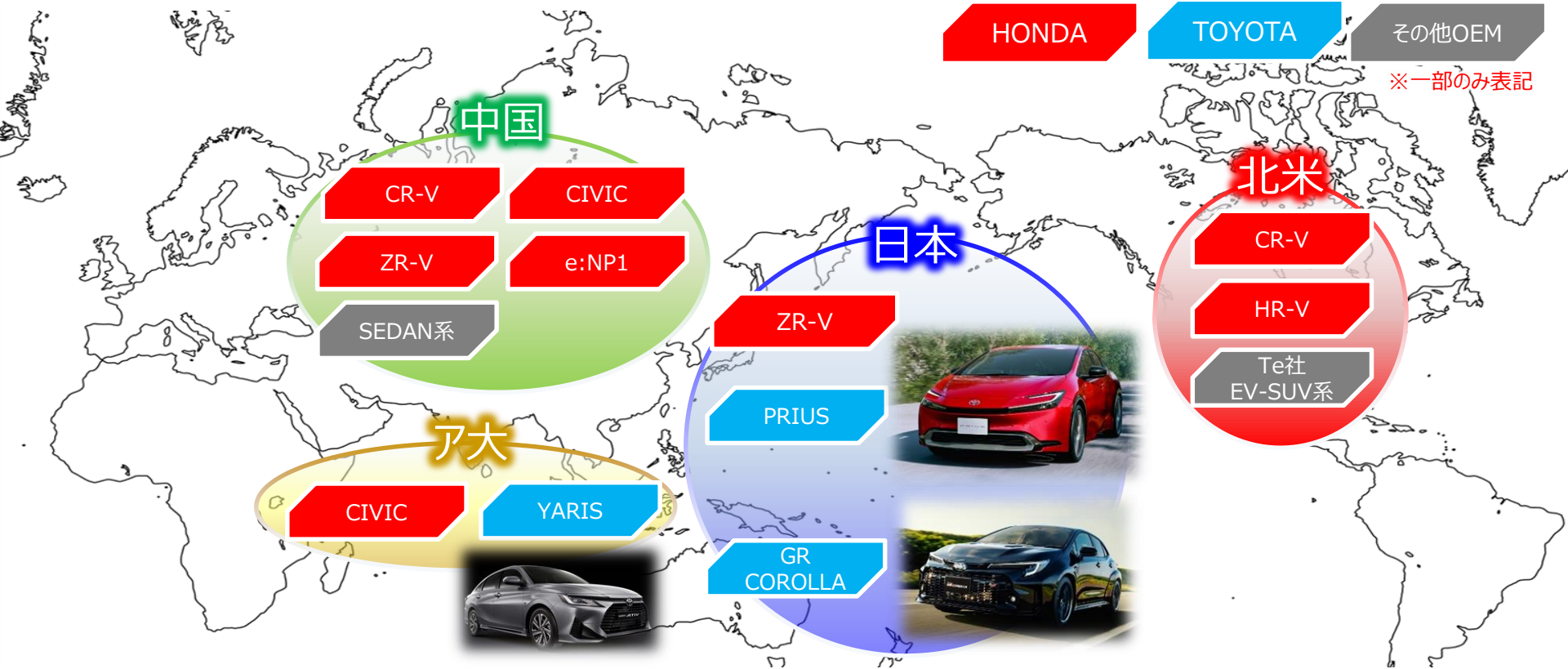
2 業績予想 Earnings Forecast

3 経営戦略 Management Strategy

4 トピックス Topics

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

生産への取組み　～2022年度生産開始の車種～



多機種の生産・供給を開始

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

持続的成長を支える取組み

◆本年もフードドライブを開催しました！

フードバンク埼玉様へ、食料品3,600食、飲料水200ケースを寄贈させていただきました。

◆グローバルでの取り組み　一例

・DYNA-MIG（カナダ）
～フードドライブ活動～

・F.E.G. DE QUERETARO（メキシコ）
～貯水池の清掃活動～

・R&D Philippines（フィリピン）
～感染ケアサポートと台風被害への資金調達～

◆当社最高顧問 福田秋秀が第21回「渋沢栄一賞」を受賞いたしました

埼玉県などが主催する「渋沢栄一賞」は、多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力し、近代日本の礎を築いた渋沢栄一の生き方や功績を顕彰するとともに、今日の企業家のあるべき姿を示すため、渋沢栄一の精神を今に受け継ぐ全国の企業経営者に贈られる賞です。

受賞理由としては、「優れた経営」と「社会への貢献」の点が評価されました。

様々な活動を通じ、社会・地域貢献に取り組み中

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

お客様と官公庁から高評価を獲得しました

日本	芳賀	開発	◆ 2023年3月　八千代工業　「開発部門賞」
	久喜	生産技術	◆ 2022年4月　文部科学大臣表彰　創意工夫功労者賞 「自動車部品向け超精密加工プレス金型の仕様改善」
	亀山	生産技術	◆ 2022年4月　文部科学大臣表彰　創意工夫功労者賞 「製品重量を利用した製品搬送の考案」
		品質 供給	◆ 2023年3月　トヨタ車体　「品質優良賞」
北米	エフテック	総合	◆ 2023年3月　General Motors 「31st annual Supplier of the Year Award」
	F&P （カナダ）	品質 供給	◆ 2023年4月　ホンダ 「Service Parts Award」「Delivery & Quality Award」
	DYNA-MIG （カナダ）	サポート	◆ 2023年3月　General Motors 「Customer Care and Aftersales On-Time Shipping Award」
	FPMX （メキシコ）	品質	◆ 2022年7月　General Motors 「Supplier Quality Excellent Award 2021」
アジア	FPMI （フィリピン）	品質	◆ 2023年3月　Toyota Motor Philippines Corporation 「2022 SUPERIOR QUALITY PERFORMANCE AWARD」
		品質 供給	◆ 2022年5月　Yamaha Motor Philippines Inc. 「2021 Supplier Award Best in Quality」「2021 Supplier Award Best in Delivery」
	FMTL （タイ）	品質	◆ 2022年7月　Nissan Motor Thailand「Regional Quality Award」
	ISS （インド）	品質	◆ 2022年7月　Denso Haryana Pvt. Ltd. 「The Certification of Appreciation - in the category of Quality for 2021-22 」

2年連続の受賞
ノミネート106社中の1社

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

ご清聴ありがとうございました

Thank you for your attention!

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

The future outlook and earnings forecasts in this document are made based on the information available at the moment, and they include potential risks and uncertainties.

As a result, please bear in mind that actual business performance may substantially differ from the stated future forecasts due to changes in various factors.

「エフテック」で検索

https://www.ftech.co.jp

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

For inquiries on IR information, please contact:

株式会社エフテック　管理本部　総務部/経理部

F-TECH INC.　Management Planning Division General Affairs Department/Finance and Accounting Department

代表TEL 0480-85-5211　Mail webmaster@ftech.co.jp

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～連結貸借対照表（2023年3月期末実績）～

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減
現金及び預金	5,491	6,371	880
受取手形・売掛金	37,806	40,902	3,096
棚卸資産	25,631	26,459	828
その他	3,673	3,673	0
流動資産	72,603	77,407	4,804
有形固定資産	92,284	89,596	▲ 2,688
無形固定資産	285	285	0
投資その他資産	10,965	10,965	0
固定資産	103,534	100,846	▲ 2,688
総資産	176,137	178,253	2,116

有利子負債残高	73,925	73,783	▲ 142
有利子負債依存度	42.0%	41.4%	−0.6%

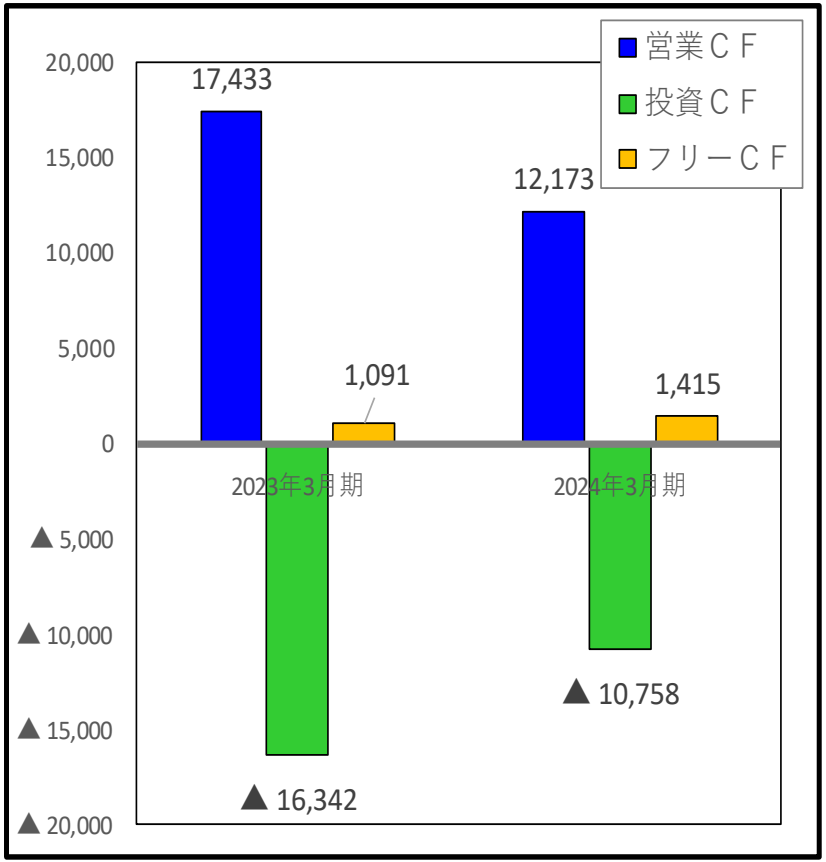
	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減
支払手形・買掛金	24,169	26,406	2,237
短期借入金	27,832	38,934	11,102
1年以内長期借入金	12,995	11,800	▲ 1,195
その他	10,547	10,076	▲ 471
流動負債	75,544	87,218	11,674
長期借入金	29,908	21,108	▲ 8,800
その他	5,927	5,149	▲ 778
固定負債	35,836	26,257	▲ 9,579
負債合計	111,380	113,476	2,096
株主資本合計	41,443	42,569	1,126
その他包括利益累計	8,595	7,273	▲ 1,322
非支配株主持分	14,717	14,935	218
純資産合計	64,756	64,777	21
負債純資産合計	176,137	178,253	2,116

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～連結キャッシュフロー表（2023年3月期末実績）～

（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減
営業活動キャッシュフロー	17,433	12,173	▲ 5,260
投資活動キャッシュフロー	▲ 16,342	▲ 10,758	5,584
財務活動キャッシュフロー	2,340	▲ 402	▲ 2,742
現金及び現金同等物に係わる為替差額	79	▲ 133	▲ 212
現金及び現金同等物の増減額	3,510	879	▲ 2,631
現金及び現金同等物の期首残高	1,981	5,491	3,510
現金及び現金同等物の期末残高	5,491	6,371	880



Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix　～会社概要～

会社名	株式会社エフテック
市場区分	東証プライム（7212）
資本金	67.9億円
代表者名	代表取締役社長　福田祐一
売上高（連結）	2,611億円（2023年3月期）
従業員数（連結）	9,763人（単体：926人）　※単体：国内エフテックのみ（子会社、海外駐在員含まず）
設立年月日	1947年7月1日
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、 日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、etc.
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、 サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等

2023年3月末現在

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～沿革～

創業期（1947-1964）
四輪事業創業期（1965-1987）
得意先・事業地域多様化期（1988-1999）
グローバル展開拡大期（2000- 現在）

1947
福田製作所
金属玩具
製造開始

1959
ホンダ取引開始

2輪部品
製造開始

1964
福田プレス工業に
改称

1965

4輪部品
製造開始

1967

亀山事業所量産

1978

本社移転　久喜へ

1986

F&P Mfg
（カナダ）設立

1988
エフテックに改称

1991
三菱取引開始

1993

F&P America設立

1994

Ftech Philippine設立

1995
日産車体取引開始

1996
株式店頭登録

1997
Dyna-Mig設立

1999
ダイハツ取引開始

2000　日産取引開始
F&P Georgia Mfg.,Inc設立

2001　TOYOTA North America取引開始
スズキ取引開始
東証二部上場

2002　偉福科技工業（中山）設立

2003　R&D North America設立

2004　偉福科技工業（武漢）設立

2006　F-TECH MFG（THAILAND）設立
東証一部上場

2008
Ftech R&D Philippines設立
煙台福研模具設立

2011
偉福（広州）汽車技術開発　設立

2012
F&P MFG.DE MEXICO　設立

2013
PT.F.TECH INDNESIA　設立
Michigan/R&D NA Office　設立

2014
R&D NA Europe　Branch
設立

2018
F-TECH AUTOMOTIVE COMPONENTS
PRIVATE LIMITED 設立

2020
VEE GEE Auto Components
Pvt Ltd. へ共同出資

2021
トヨタ取引開始

2022
India Steel Summit
Private Limited子会社化
東証プライム上場

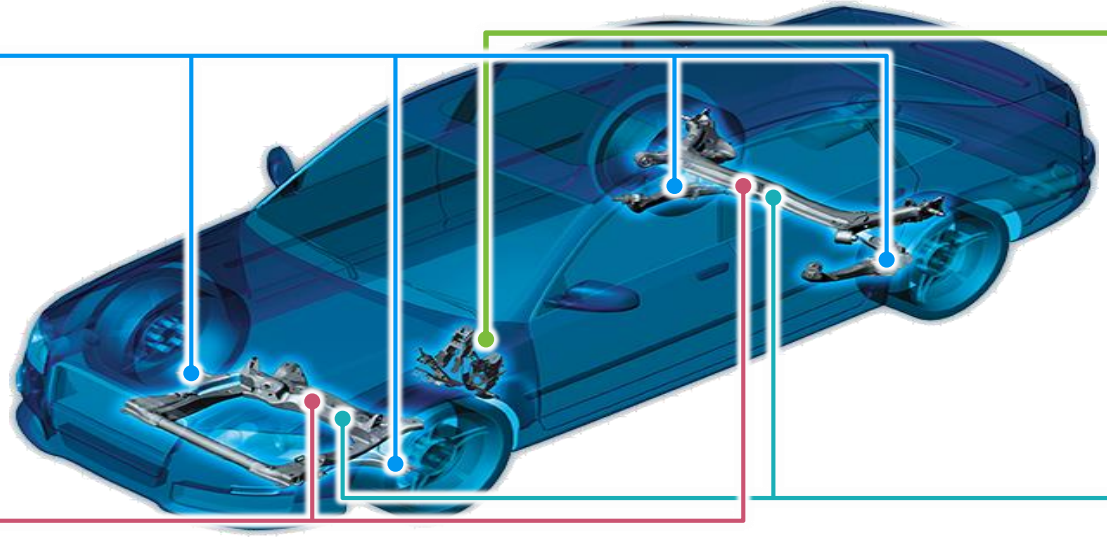
2023
F-TECH NORTH
AMERICA INC. 設立

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix　～当社の四輪部品～

サスペンション
部品

マウント部品



コントロール部品

RR

FR

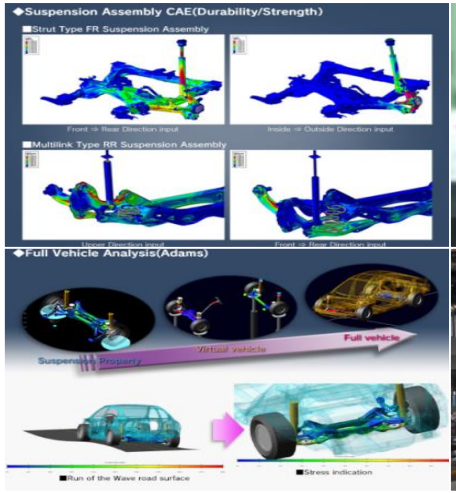
モジュールアッシー

当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、
重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、
衝突時の安全性を考慮した最適仕様を提案

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～当社の業容（シャーシ部品開発・生産）～

製品開発 → 塑性成形 → 接合 → 塗装 → 組立

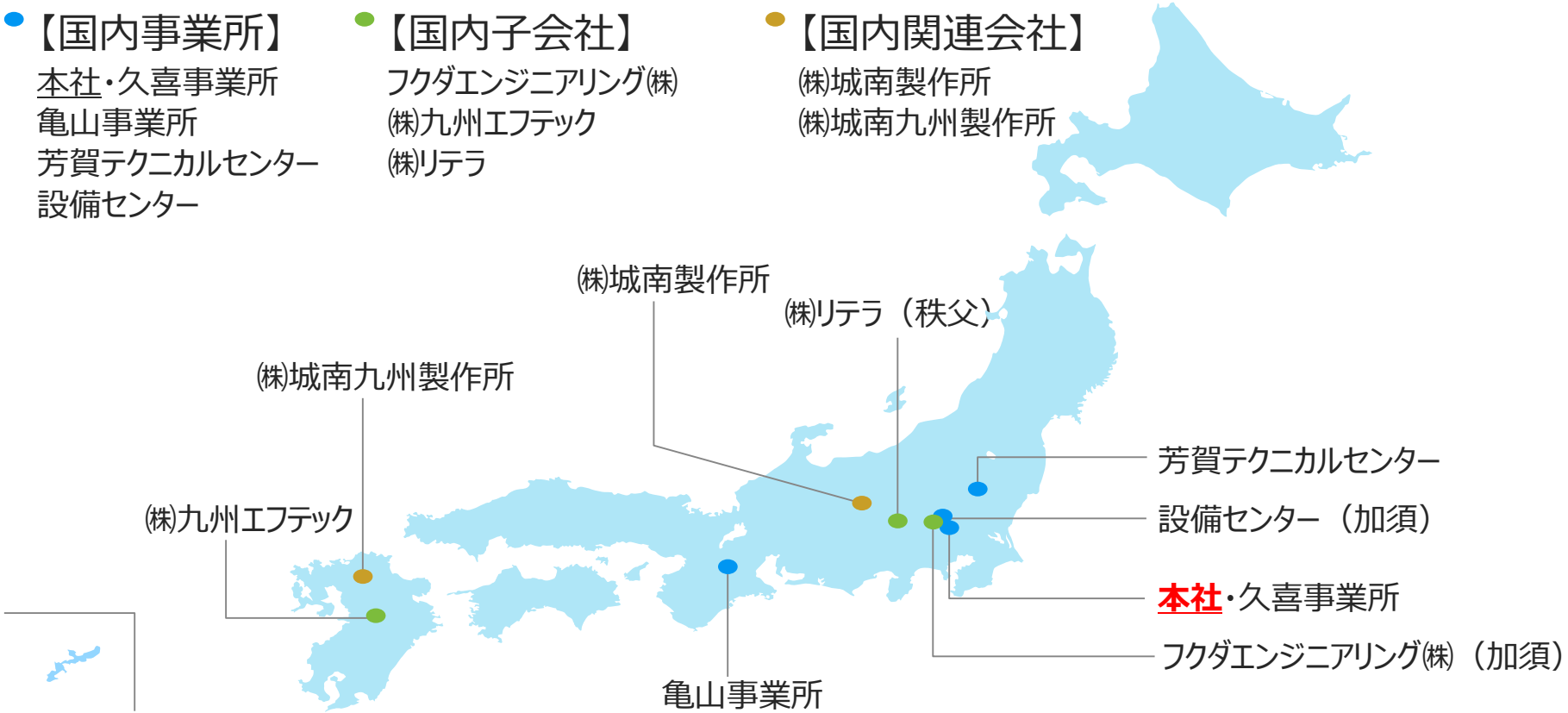


製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～当社グループの国内拠点～

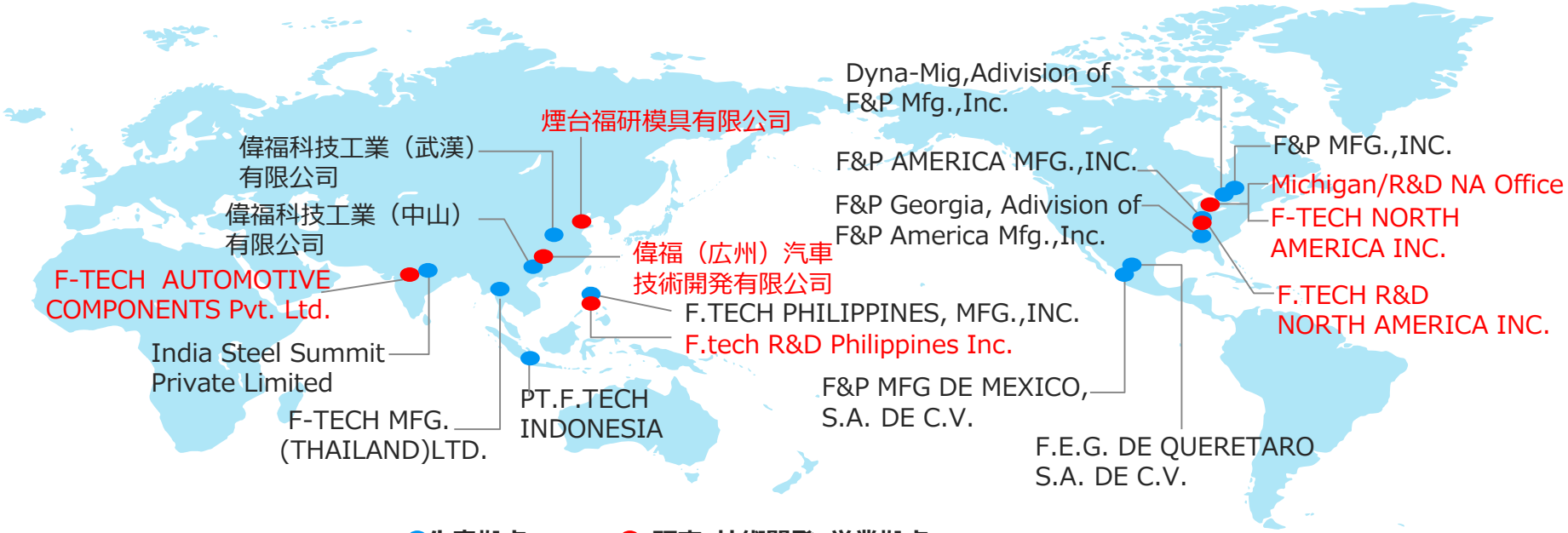
- 【国内事業所】
  本社・久喜事業所
  亀山事業所
  芳賀テクニカルセンター
  設備センター
- 【国内子会社】
  フクダエンジニアリング㈱
  ㈱九州エフテック
  ㈱リテラ
- 【国内関連会社】
  ㈱城南製作所
  ㈱城南九州製作所



Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～当社グループの海外関係会社～

（2023年4月1日時点）



●生産拠点

北米（6工場）
中国（2工場）
アジア（4工場）

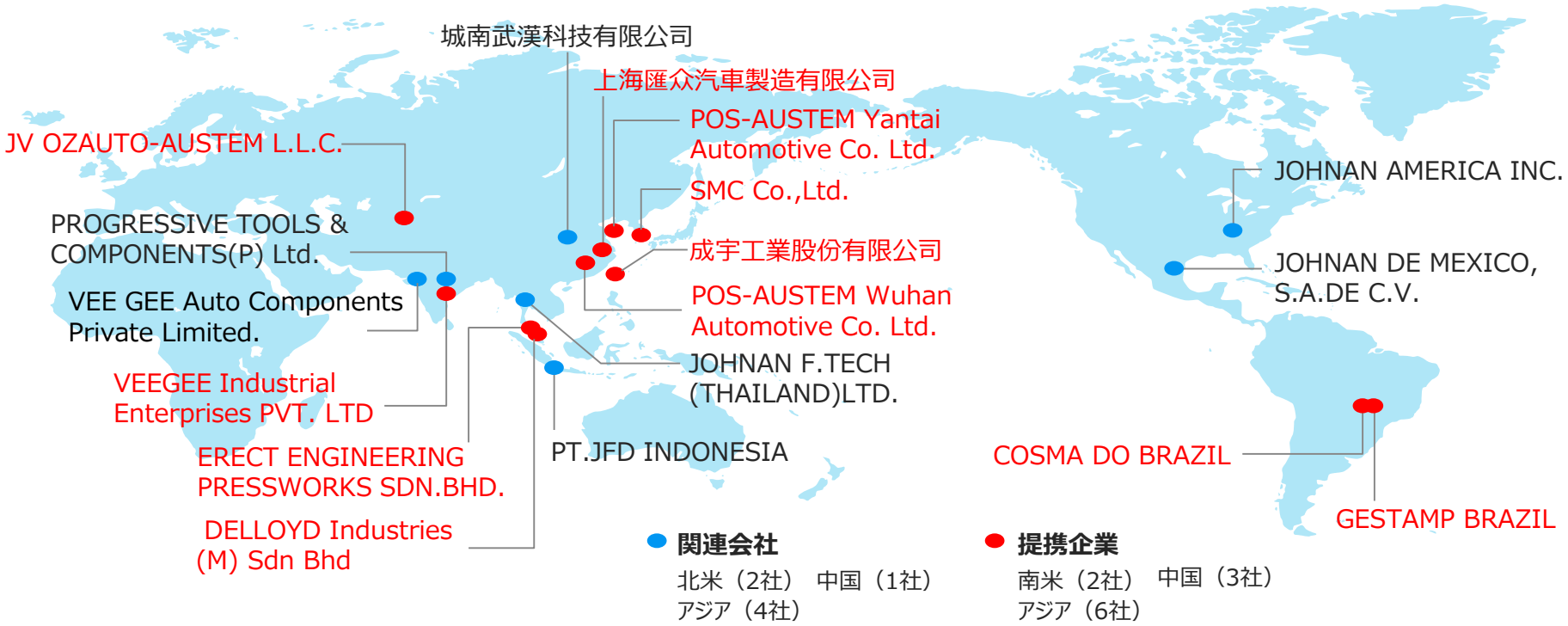
● 研究・技術開発・営業拠点

北米（3拠点）中国（2拠点）
アジア（2拠点）

世界8カ国12生産拠点、7研究・技術開発・営業拠点を展開

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved

Appendix ～当社関連会社、技術提携企業～ （2023年4月1日時点）



世界6カ国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築

Copyright(c) 2023 F-TECH INC. All Right Reserved